

県工業技術センターと福井県企業（ミツヤ、SHINDO）が
世界最大の複合材料展示会で、革新的な技術に与えられる JEC 賞を受賞

世界最大の複合材料展示会「JEC World 2017」（平成 29 年 3 月 14 日～16 日、仏・パリ）において、株式会社 I H I が航空部門で JEC 賞（JEC Innovation Awards）※ を受賞した。そのパートナーとして、県工業技術センター、株式会社ミツヤ（福井市）、株式会社 SHINDO（あわら市）も受賞。

受賞内容は、エアバス社の航空機「A320neo」用の新型ジェットエンジン「PW1100G-JM」の主要部品であるファンケースおよびファン構造案内翼（SGV）に炭素繊維複合材料を用いることで低燃費を実現した功績によるもの。（具体的には、軽量化を図りつつエンジンファン径の大径化を可能にすることでバイパス比を高め、燃費の向上を実現したことが評価された。）表彰式は 3 月 15 日、パリ ノール ヴィルパント見本市会場で行われた。

受賞名：JEC Innovation Awards （航空部門）

受賞者：株式会社 I H I、株式会社 I H I エアロスペース
パートナーとして、県工業技術センター、株式会社ミツヤ、株式会社 SHINDO など

受賞対象：「革新的な航空機エンジン用複合材料ファンシステム」
（世界初の熱可塑性複合材料 SGV およびファンケース用軽量複合材料の開発）

県内企業の分担内容：

ミツヤ：県工業技術センター開発の開繊技術（県特許）を活用し、構造案内翼（SGV）の基材を製造

SHINDO：ファンケース用 NCF（ノンクリンプファブリック）を製造



※ JEC 賞 (JEC Innovation Awards) について

毎年、複合材料関連で、その年の優れた革新的技術や功績に対して表彰しており、今回は、13 の革新的技術・功績に対して表彰 (今回の日本企業の受賞は、この 1 件のみ)

〔 2017 年の JEC 賞 (13 部門) の内訳
航空、自動車 (構造)、自動車 (外観)、建設、工法、製造工程、環境、船舶、3D プリント、
ソフトウェア、スポーツ、材料、居住空間 〕

(JEC: Journals and Exhibitions on Composites)